



いちよう

山形市立第四小学校

校長 村上 ゆかり

<児童数 187名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

6つのチャレンジで もっとつながった「いちよう兄弟体験学習」

今年度のいちよう兄弟体験学習のスローガンは、「もっとつながろう！6つのチャレンジ！」。夏休み明けから続いた猛暑のため、体育を含む外での活動をほとんど行うことができず、さらに市内より標高の高い自然の家であっても気温の高い日が多かったため、当日は子どもたちの安全を最優先に、活動内容と日程を変更しての実施としました。持ち物の追加や体調管理等へのご協力、ありがとうございました。

板橋キャンプ場付近の日差しはまだまだ強く、秋の訪れはもう少し先のように思いましたが、入所式で耳を澄ますと、秋の虫の声が聴こえてきました。「音さがしチャレンジ」のスタートです。また例年よりも短いコースを使つての追跡ハイキングでも、袋いっぱいのきのこや真っ赤に色づいた葉を探した子どももあり、確かに季節が進んでいることを感じながら、活動を進めました。「班のマーク作りチャレンジ」も「にこにこえがおチャレンジ」についても、子どもたちとともに後日写真を見るのが楽しみです。また、低学年の子どもたちが特に楽しみにしていたチャレンジが「なぞなぞクイズチャレンジ」でした。事前のクルーズタイムで「なぞなぞを考えてきてね」と言われていたこともあり、1年生の問題に頭を悩ませる班長の姿もありました。『消防車の上に乗っている動物はななに？』おわかりになりますか？

コロナに続き今年度は猛暑と子どもたちを取り巻く状況は、以前とは大きく変わっていますが、「異学年のつながりからの学び」「全校生での共通体験」を柱に、これからのクルーズ班活動を実りあるものになるよう、つなげていきたいと思ひます。



一人一人が拾った落ち葉や枝を使って、今日しかできない班のマーク作り。



虫博士の実力を発揮し、「かまきり」を捕獲。観察した後は、逃がしてあげました。



6年生の頼もしさが光る1日でした。

＊9月7日に、6年生を対象に総務省の行政出前講座を実施していただきました。行政出前相談員のお話により、「行政」の仕事について理解を深め、自分たちの住んでいる地域をより良くするための要望や意見について、相談できる機関があることを学びました。橋梁の落書きや通学路の除雪などが、相談によって解決につながった例を知り、新たな視点で地域を見つめなおす機会となりました。



＊ 9月の校長講話より

始業式のときに、2学期は「心と頭をたくさん使って 見えない自分を成長させていきましょう。」とお話しました。「心と頭」は、人間の身体のどの部分を使うことなのでしょう？それは「脳」です。脳は、人間の身体の様々な部分をはじめ、動かすこと、話すこと、考えることなどを全部コントロールしている、いわば司令塔です。

脳は、脂肪が約60パーセント、タンパク質40パーセントでできていて、表面は「大脳皮質」というたくさんの神経細胞が集まった組織で包まれています。脂肪やタンパク質などは、体の他の部分でも同じものが使われているので、そこから「考える頭の役目」や「何かを思う心の役目」が「脳」にだけあるというのは、実は最新の研究でもまだわかっていない、最大の謎です。でも、いろいろな研究を通して、最近はどうしたら「脳」がよく働くようになるかはわかってきているのです。

まず、1つめは脳が生き生きと働くのは、「しっかり眠った 朝」ということです。脳にとっての「ゴールデンタイム」と言われています。

脳は、眠っている間に、前の日に経験したことや学習したことを整理するということがわかっています。身体が休んでいるときも、脳はずっと寝ているわけではなくて、整理整頓する、働いている時間もあるのです。「レム睡眠」という言葉を聞いたことがある人もいないのでしょうか？「夢」を見るのもこの時間です。しっかり眠ることで、脳に入った情報・新しく勉強したことがしっかり整理整頓されるということ、そして、その片付いたところに新しいことを入れるのには、朝がいいということですね。



2つ目は脳を元気にするには「新しいことにチャレンジする」ことがいいということです。小さなことでもいいので、やったことのないことに挑戦すると「ドーパミン」という物質が出て、脳が生き生きします。わくわくすることはもちろん、ちょっと嫌だなと思うことや怖いと思うことでも、「よし、チャレンジ」と思ってやることは、脳は喜んで、生き生き活動するのだそうです。

そして、3つ目は「やるときは、集中」です。身体の筋肉を鍛えるとき、だらだらゆっくりやっても、効果は期待できません。脳も同じで、鍛えるには「集中力」が大切なのです。すぐに取り組めるのは「時間の設定」です。簡単な問題でも、「よし、〇〇分で全部やるぞ」と目標を決めたり、ゆっくり取り掛かるのではなく、さっと問題に向かったりすることで、脳はいつでもトップスピードで働くことができるようになるそうです。

2学期は、ぜひこの3つに挑戦してみたいと思います。

最後に、すごい「脳」を持っている海の生き物がいることを、校長先生はこの前、初めて知ったので、クイズにします。さて、何人が分かるでしょうか？

1. その生き物は、「人工知能」と似た仕組みの「脳」をもち、チンパンジーなどと同じような知的行動をとることができます。ロボット開発にも注目されています。
2. その生き物の特技は、「変身」です。まわりのものに合わせて、自分の身体の色だけでなく、姿かたちもかえることができます。
3. その生き物は、心臓が3つあるといわれています。そして、足は8本です。

そう、「タコ」ですね。

今週、グリーンクリーン委員会の皆さんが身の回りの植物クイズに取り組んでくれていますね。校長先生が、知ったつもりでいた「タコ」のことで驚いたように、みなさんの身の回りの植物にも驚くことが隠れているかもしれません。どんなクイズが集まるか、楽しみにしています。